

【目的】 乳房の形には個人差があるが、ブラジャーを着想することによって整容効果を期待することができ、形の美しさも捉えることができる。ブラジャーの機能はつけ心地の好適性と衣服を着用したとき、いかにバストラインを美しくみせるかの 2 因子に集約できると思われる。本研究では、乳房のかたちの美しさを評価する方法を見出すことを目的に、コンピュータグラフィックスで胸部の 3 次元形状を作成し、形容詞を設定して官能評価を行い検討した。若干の知見を得たので報告する。

【方法】 20 代日本人成人女子の平均的人体寸法ダミー(七彩社製)を使用し、Minoruta 社製の非接触 3 次元形状計測装置“VIVID700”で胸部の画像をコンピュータに取り込み、3 次元形状モデルを作成しこれを基準とした。次に乳頭点を原点として、脇流れ(x)と乳房の下垂(y)のルールを決め 4×4 の組合せで 16 形状のモデルを作成した。この画像を CRT にランダムに出力し、5 段階評価を行った。被験者は女子学生 110 名である。

【結果】 16 形状の胸部画像について評価した結果、「セクシー」な乳房は下垂せず標準より脇ながれのかたちに、「張りのある」「ふっくらとした」「豊満」は下垂と広がりったかたち、「貧弱」「下品」は非常に下垂しているかたちに評価された。美しい乳房は「ナチュラル」で「バランスのとれた」かたちであることが分かった。以上の結果より、胸部のかたちと感性評価の関係を明かにすることができた。